NY マーケットレポート（2014 年 8 月 6 日）

NY 市場では、ウクライナをめぐりロシアが欧米諸国の経済制裁に対抗措置を取る姿勢を示すなど、情勢の先行き悪化に対する懸念から、比較的安全な通貨とされる円を買う動きが先行し、序盤のドル円・クロス円はやや上値の重い動きとなった。そして、下落して始まった米株価がプラス圏まで上昇したこともあり、底固い動きも見られた。しかし、その後、急激な円買いの動きから、ドル円・クロス円は大きく下落する動きとなった。一部では CME の通貨先物取引で誤発注があったとの噂や、ストップロス主導で円買いが強まったとの見方も出ていた。ドル/円は、7 月 28 日以来の安値となり、ユーロ/円は 2013 年 11 月 22 日以来の安値を付ける動きとなった。ただ、その後は全般的に値を戻す動きとなった。

2014/ 8/6（水）

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	102.52	102.65	102.50
EUR/JPY	137.08	137.24	136.94
GBP/JPY	172.90	173.29	172.84
AUD/JPY	95.56	95.57	95.31
EUR/USD	1.3373	1.3377	1.3349

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	102.55	102.31
EUR/JPY	137.12	136.44
GBP/JPY	172.90	172.15
AUD/JPY	95.56	95.13
EUR/USD	1.3375	1.3333

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15159.79	-160.52
ハンセン指数	24584.13	-64.13
上海総合	2217.46	-2.48
韓国総合指数	2060.73	-5.53
豪ASX200	5512.00	-6.56
インドSENSEX指数	25665.27	-242.74
シンガポールST指数	3320.23	-7.44

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6636.16	-46.32
仏CAC40	4207.14	-25.74
独DAX	9130.04	-59.70
ST欧州600	329.19	-2.91
西IBEX35指数	10246.20	-107.60
伊FTSE MIB指数	19509.84	-542.36
南ア 全株指数	51091.80	-257.31

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	102.08	102.45	101.78
EUR/JPY	136.59	136.79	136.16
GBP/JPY	172.04	172.50	171.58
AUD/JPY	95.45	95.53	95.22
NZD/JPY	86.51	86.61	86.22
EUR/USD	1.3382	1.3388	1.3339
AUD/USD	0.9351	0.9374	0.9307

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16443.34	+13.87
S&P500	1920.24	+0.03
NASDAQ	4355.05	+2.22
その他主要株	終値	前日比
トロント総合	15202.09	+14.38
ボルサ指数	44425.77	-55.91
ボベスパ指数	56487.18	+285.08

8/7 経済指標スケジュール

08:30 【豪】7月AiG建設業指数
10:30 【豪】7月失業率
10:30 【豪】7月雇用者数
10:30 【豪】7月労働参加率
14:45 【スイス】7月SECO消費者信頼感指数
15:00 【南ア】7月外貨準備高
15:00 【独】6月鉱工業生産
15:45 【仏】6月貿易収支
17:00 【ノルウェー】6月鉱工業生産
18:30 【南ア】7月SACCI景況感指数
20:00 【英】政策金利発表
20:00 【南ア】6月製造業生産
20:45 【欧】政策金利発表
21:30 【米】新規失業保険申請件数
21:30 【米】失業保険継続受給者数
21:30 【カナダ】6月住宅建設許可
22:00 【メキシコ】7月消費者物価指数
23:00 【カナダ】7月Ivey購買部協会指数
04:00 【米】6月消費者信用残高

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1308.20	+22.90
NY 原油	96.92	-0.46
CMEコーン	374.25	+7.00
CBOT 大豆	1080.00	+14.25

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.46%	0.46%
3年債	0.91%	0.90%
5年債	1.65%	1.66%
7年債	2.13%	2.14%
10年債	2.47%	2.48%
30年債	3.27%	3.28%

8/7 主要会議・講演・その他予定

・ECB総裁 定例会見

（出所：SBILM）

NY 市場レポート

21:00

ドル/円　102.39　　ユーロ/円　136.61　　ユーロ/ドル　1.3343

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6606.79	-75.69	ダウ INDEX FUTURE	161313	-53
仏 CAC40	4187.21	-45.67	S&P500 FUTURE	1906.90	-6.10
独 DAX	9082.52	-107.22	NASDAQ FUTURE	3852.25	-19.50

（出所：SBILM）

21：30

≪ 経済指標の結果 ≫

6 月米貿易収支　−415 億 USD（予想　−448 億 USD・前回　−447 億 USD）前回発表の−444 億 USD から−447 億 USD に修正

（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ
≪米貿易収支≫

	6月	5月	4月	3月	2月	1月	前年同月
入出超	-415.4	-446.6	-470.4	-441.8	-425.9	-400.5	-365.5
輸出	1958.6	1956.0	1935.1	1936.6	1881.5	1921.8	1903.7
輸入	2374.0	2402.6	2405.4	2378.3	2307.4	2322.4	2281.8

（単位　億ドル）

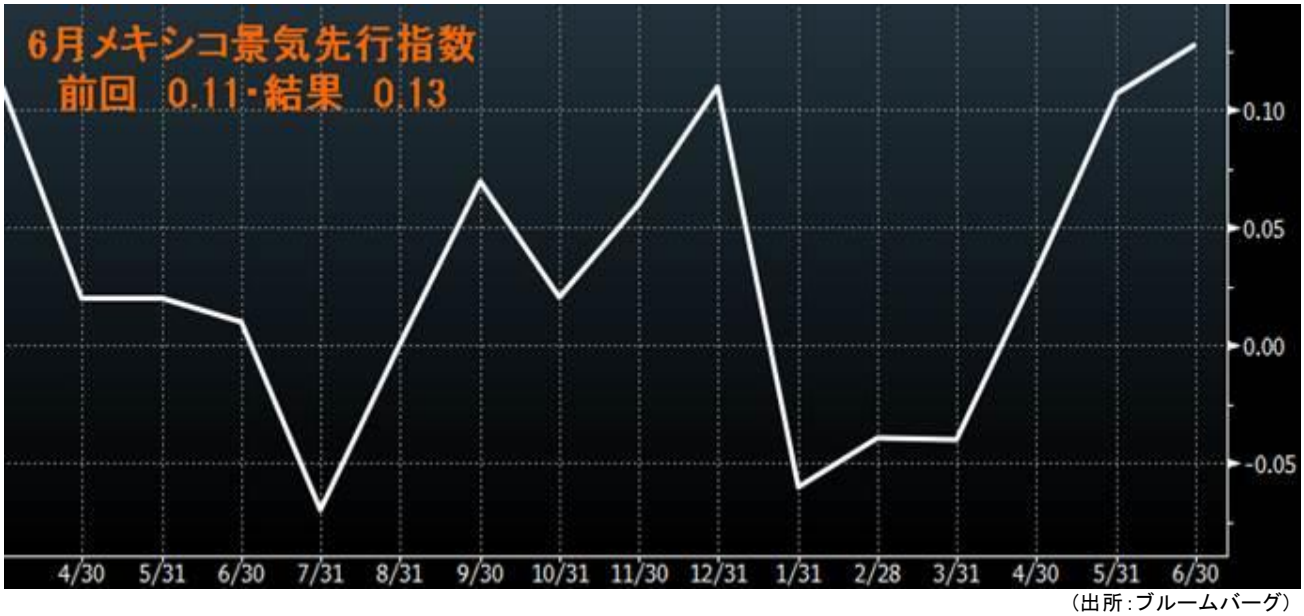
21：30
≪ 経済指標の結果 ≫
6月カナダ国際商品貿易　18.6億CAD（予想　0.0億CAD・前回　-1.5億CAD）
前回発表の-1.5億CADから5.8億CADに修正

（出所：ブルームバーグ）

（出所：ネットダニアー）

22：01
≪ 経済指標の結果 ≫

6月メキシコ景気先行指数　0.13（前回　0.11）



（出所：ブルームバーグ）

≪ NY外国為替市場　序盤 ≫
序盤の外国為替市場は、ウクライナをめぐりロシアが欧米諸国の経済制裁に対抗措置を取る姿勢を示すなど、情勢の先行き悪化に対する懸念から、比較的安全な通貨とされる円を買う動きが先行している。

22：05
ウクライナ大統領補佐官

・「ロシアが平和維持軍を送り込めば侵攻と見なす
・「ロシア平和維持軍の派遣には行動で対応」

22：33
米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16378.77	-50.70
ナスダック	4327.22	-25.62

（出所：SBILM）

≪ポイント≫
NATO（北大西洋条約機構）は声明で、ウクライナ東部の国境に約 2 万人のロシア軍が集結したと明らかにした。ロシアがウクライナ派兵に向け、人道的任務または平和維持活動を口実にする可能性があると指摘した。また、ポーランドのトゥスク首相は、ロシア軍によるウクライナへの直接介入のリスクがここ数日で高まったと語った。

ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、投資家のリスク回避の動きが強まっており、欧米の株価は下落する一方、安全資産とされる金は、NYタイムに1オンス＝1289ドルから1309ドルまで上昇している。

（出所：ブルームバーグ）

23：00
≪ 経済指標の結果 ≫

7月英NIESR GDP予想　0.6%（前回　0.8%）
前回発表の0.9%から0.8%に修正

（出所：ブルームバーグ）

23：15
≪　要人発言　≫
ヘーゲル米国防長官～ドイツで記者団に話した

・「ロシア軍がウクライナに侵入する可能性ある」
・「ロシアによるウクライナ侵攻の脅威は現実」

23：30
≪EIA 米週間在庫統計≫

原油在庫・・・・176 万バレル減少
ガソリン在庫・・439 万バレル減少
留出油在庫・・・180 万バレル減少

23：35
≪ NY 株式市場　序盤≫
序盤の株式市場は、ウクライナ情勢をめぐり欧米とロシアの緊張が高まるとの懸念を背景に、主要株価は売りが先行した。その後は、安くなった銘柄を買い戻す動きも出て、プラス圏まで値を戻す動きとなっている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 57 ドル安まで下落する動きとなった。しかし、その後はプラス圏まで値を戻している。

0：00
ロシア報復措置の一環

・ロシアが対ロ制裁実施国からの農産物輸入を禁止もしくは制限、期間は 1 年。
・プーチン大統領は、輸入禁止対象リスト策定を政府に指示。

≪ 経済指標のポイント ≫
（1）MBA（全米抵当貸付銀行協会）の住宅ローン申請指数は、前週比+1.6%と 5 週間で 3 回目の上昇となった。借り換え申請が増加したことが要因。借り換え指数は+3.8%、購入指数は-1.3%。申請全体に占める借り換えの割合は 54.5%（前週 53.2%）となった。30 年固定金利型の住宅ローン金利は 4.35%（前週 4.33%）、15 年固定金利型は 3.51%（前週 3.47%）となった。

（2）6 月の米貿易収支では、赤字額が前月比-7.0%の 415 億 3800 万ドル（約 4 兆 2000 億円）と市場予想の 447 億ドルの赤字大きく下回り、2 ヵ月連続赤字縮小となった。欧州やカナダへの輸出が伸びた一方、中東からの輸入が減ったことが赤字縮小につながった。
①輸出総額は+0.1%の 1958 億 6300 万ドルで過去最高を更新、自動車・同部品が過去最大を記録したほか、航空機や医療器具が大幅に伸びた。
②輸入総額は-1.2%の 2374 億 100 万ドルとなり、石油製品や燃料油の減少が目立ち、携帯電話・その他家庭用品も大きく減少した。
③対日赤字は+6.1%の 54 億 1800 万ドル、対中赤字は+4.5%の 300 億 5800 万ドルとなる一方、対 EU 赤字は-9.0%となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6636.16	-46.32
仏 CAC40	4207.14	-25.74
独 DAX	9130.04	-59.70
ストック欧州 600 指数	329.19	-2.91
ユーロファースト 300 指数	1323.65	-10.94
スペイン IBEX35 指数	10246.20	-107.60
イタリア FTSE MIB 指数	19509.84	-542.36
南ア アフリカ全株指数	51091.80	-257.31

（出所：SBILM）

≪欧州株式市場≫
欧州株式市場は、ウクライナ情勢の先行き懸念に加えて、ドイツの経済指標の悪化やイタリアが 2 四半期連続のマイナス成長になったことが材料視され、主要株価は軟調な動きとなった。

（出所:ブルームバーグ）

1：00
米主要株価・中盤
ダウ　16486.34（+56.87）、S&P500　1926.46（+6.25）　ナスダック　4377.09（+24.26）

≪ NY 債券市場 ・午前≫
序盤のニューヨーク債券市場は、ウクライナ情勢をめぐるロシアと欧米の緊張が高まるとの懸念から投資家がリスク回避の動きを強め、安全資産とされる米国債の逃避買いが先行した。

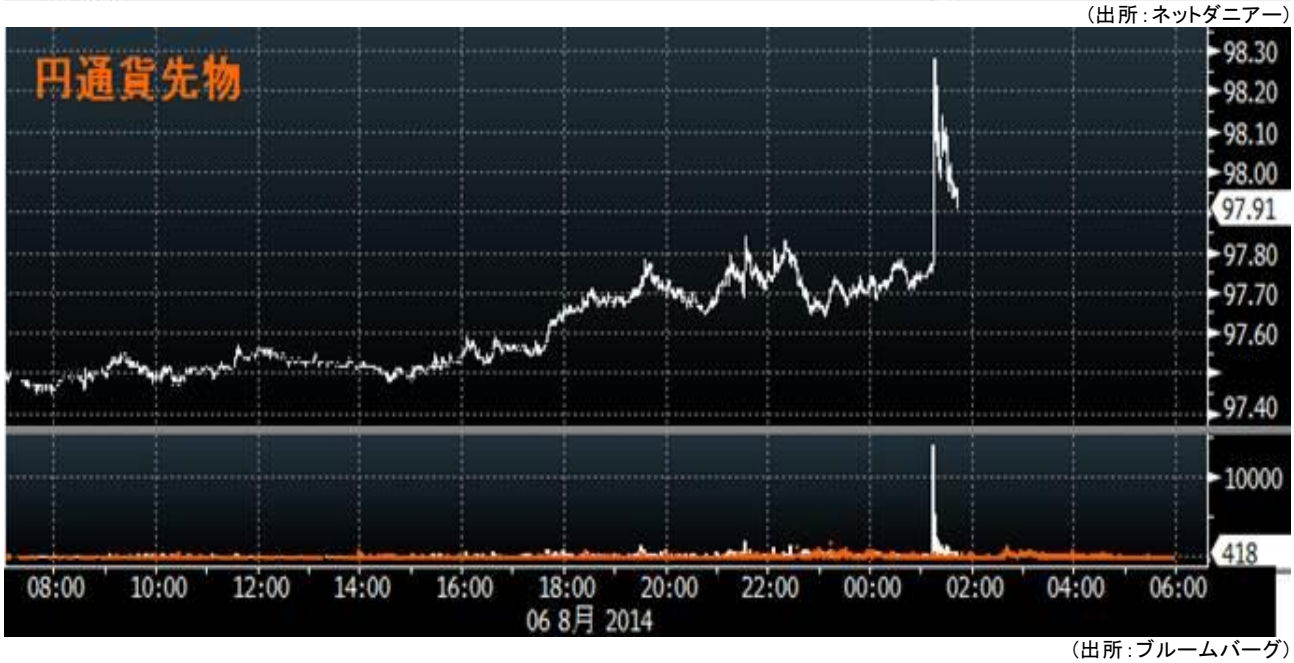
午前の利回りは、30 年債が 3.26%（前日 3.29%）、10 年債が 2.46%（2.49%）、7 年債が 2.12%（2.15%）、5 年債が 1.64%（1.67%）、3 年債が 0.90%（0.90%）、2 年債が 0.46%（0.47%）。

≪欧州のポイント≫
①イタリア国家統計局が発表した 4-6 月期 GDP 速報値は、前期比-0.2%と予想に反して前期比で減少となり、2 四半期連続で縮小しリセッションに陥った。前年同期比では-0.3%となった。マイナス成長は、今年の財政赤字を対 GDP 比で 2.6%に圧縮し、債務削減も開始するという政府計画を損ねる恐れが懸念されている。若年層の失業率が 40%を超え、政府債務が約 2 兆ユーロ（約 273 兆円）に上ることから、レンツィ首相には景気の速やかな好転を求める圧力がかかっている。

②英住宅金融大手ハリファックスが発表した 5-7 月の住宅価格は、前年同期比+10.2%と、国内で金融危機が発生した 2007 年 9 月以来の大きな伸びを記録した。住宅価格の上昇はこれまで、ロンドンに集中していたが、足元では全国に広がりを見せている。第 2・四半期のロンドンの住宅価格は前年比+15.9%で、全国は+8.8%だった。ハリファックスの住宅ローン担当は「供給が低水準にとどまる中、住宅需要は引き続き景気回復や雇用増、消費者信頼感の改善、低い住宅ローン金利に支えられている」と指摘した。

1：15
急な円買いの動きに、ドル/円は 102.30 から一時 101.78 まで下げる動きとなった。また、ユーロ/円も 136.16 まで下落し、2013 年 11 月以来の安値を付けるなど、クロス円も軒並み軟調な動きとなった。

（出所：ネットダニアー）



（出所：ブルームバーグ）

3：30
NY 金は、中心限月が前日比 22.90 ドル高の 1 オンス＝1308.20 ドルで取引を終了した。

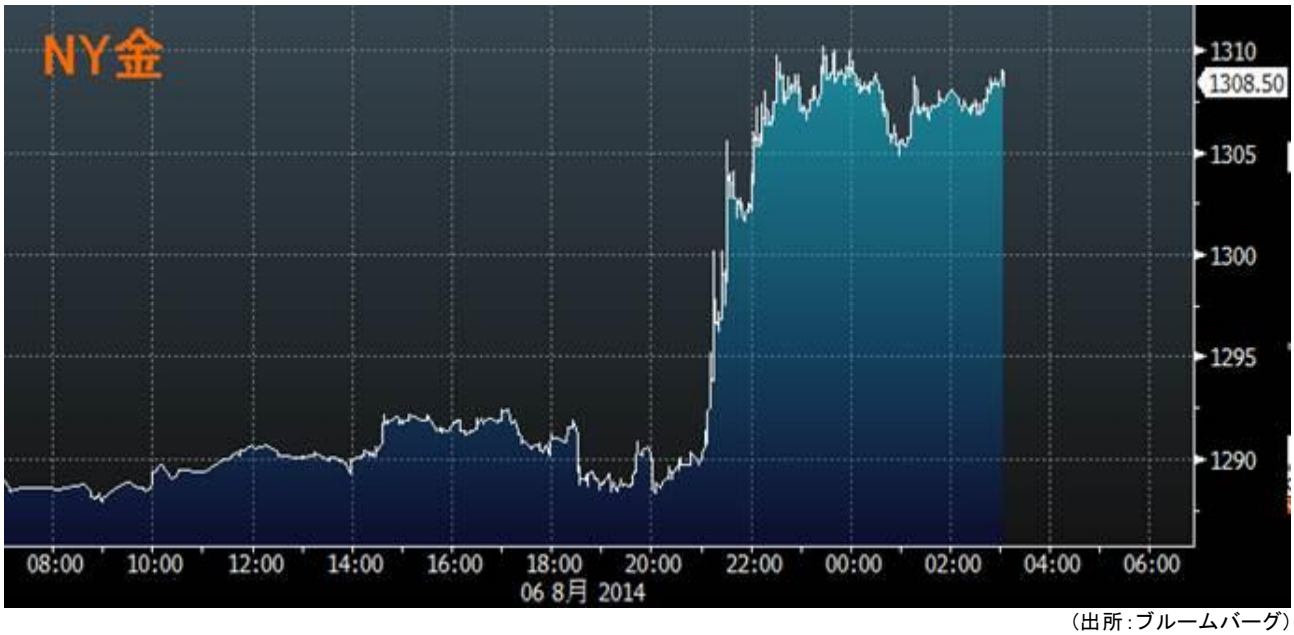
4：00
メルケル首相、ロシアのプーチン大統領と電話会談～独政府
・「プーチン大統領は、メルケル独首相にウクライナ作戦継続を言明」
・「メルケル独首相は、親ロシア派への物資供給に懸念表明」

4：20
NY 原油は、中心限月が前日比 0.46 ドル安の 1 バレル＝96.92 ドルで取引を終了した。

主要商品	終　値	前日比
NY GOLD	1308.20	+22.90
NY　原油	96.92	-0.46

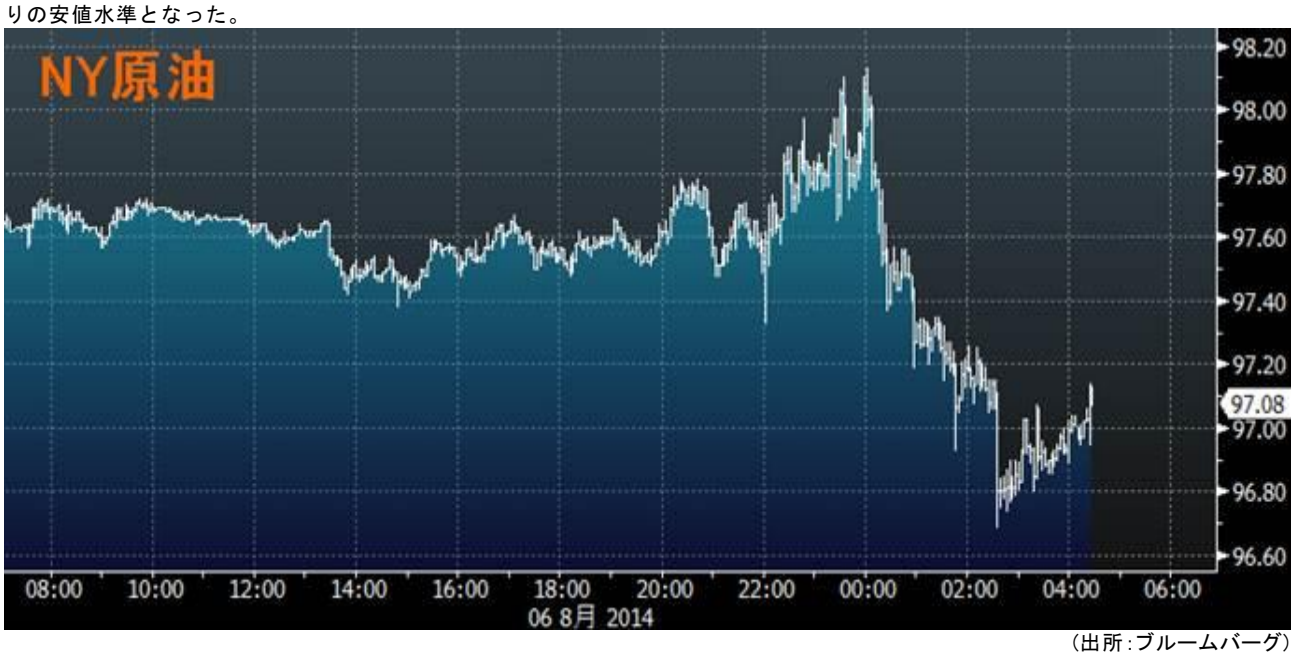
（出所：SBILM）

≪ NY 金市場 ≫
ＮＹ金は、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、投資家のリスク回避の動きが強まり、比較的安全な資産とされる金を買う動きが優勢となった。終値ベースでは、7 営業日ぶりに 1300 ドルを回復して引けた。



（出所：ブルームバーグ）

≪ NY 原油市場 ≫
ＮＹ原油は、米石油在庫統計で、米オクラホマ州クッシングの原油在庫が増加したことを受けて、売りが優勢となった。ただ、ガソリンや石油精製品の在庫減少が好感されたこともあり、下げ幅は限定的となった。終値ベースでは、2 月上旬以来、約半年ぶりの安値水準となった。



（出所：ブルームバーグ）

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16443.34	+13.87	16490.70	16372.32
S&P500 種	1920.24	+0.03	1927.91	1911.45
ナスダック	4355.05	+2.22	4378.99	4325.04

（出所：SBILM）

≪米株式市場≫

米株式市場は、ウクライナ情勢をめぐり欧米とロシアの緊張が高まるとの懸念を背景に、主要株価は売りが先行した。しかし、その後は安くなった銘柄を買い戻す動きも出て、プラス圏まで値を戻す動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 57 ドル安まで下落する動きとなった。しかし、その後はプラス圏まで値を戻す動きとなった。

（出所：ブルームバーグ）

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	102.08	102.45	101.78
EUR/JPY	136.59	136.79	136.16
GBP/JPY	172.04	172.50	171.58
AUD/JPY	95.45	95.53	95.22
NZD/JPY	86.51	86.61	86.22
EUR/USD	1.3382	1.3388	1.3339
AUD/USD	0.9351	0.9374	0.9307

（出所：SBILM）

≪外国為替市場≫
外国為替市場は、ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、ドル円・クロス円は序盤からやや上値の重い展開となった。その後、円買いが強まる動きとなったことから、ドル円・クロス円は大きく下げる場面もあった。しかし、その後は値を戻す動きとなったものの、上値の重い展開が終盤まで続いた。

（出所：ブルームバーグ）

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。